

南阿蘇村 南阿蘇村歴史的石積群

文化的景観をかたちづくる 歴史的石垣の再生

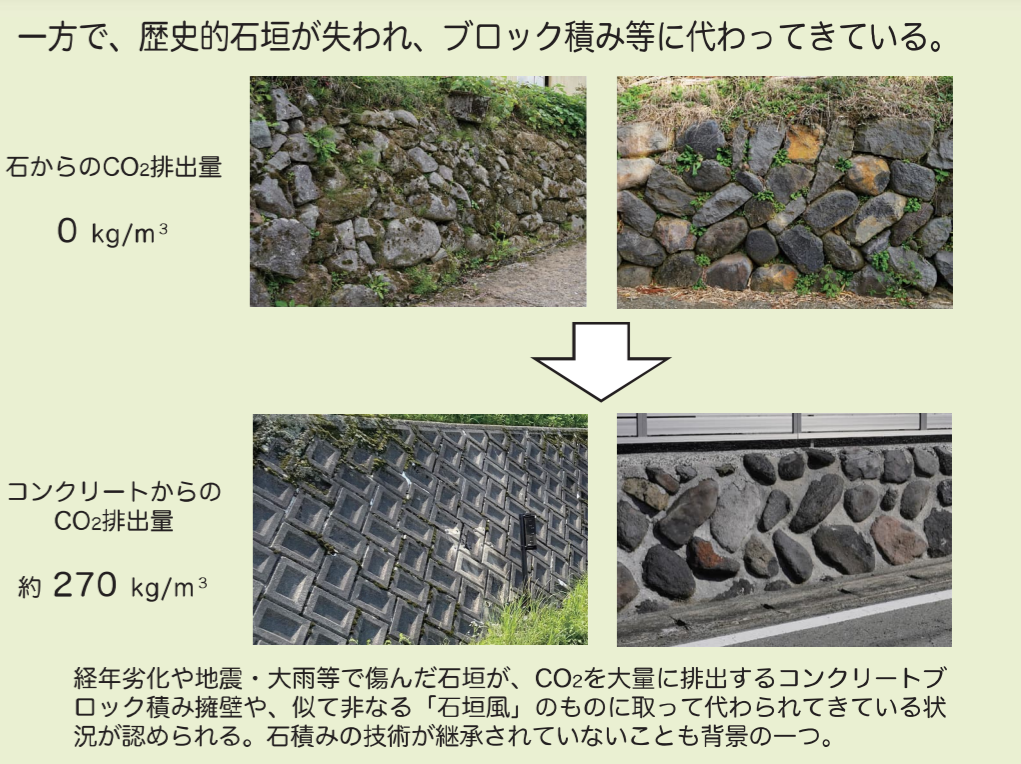
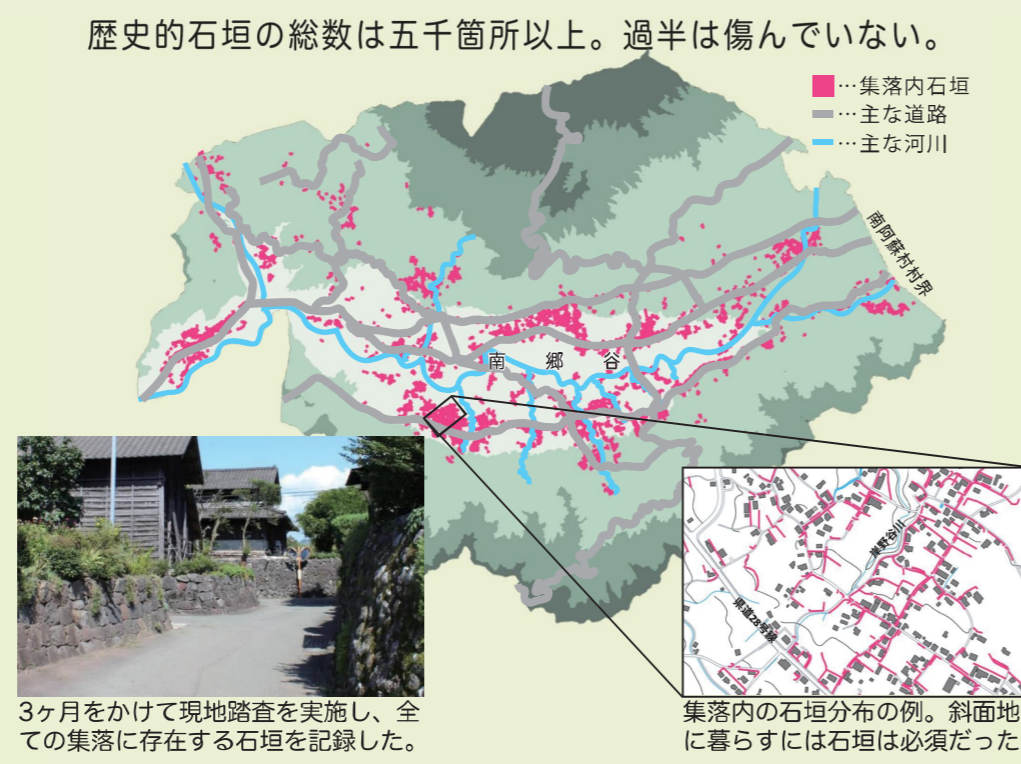


分解前の石垣。地震や豪雨で傷んでいた。

昔の知恵と技を学び、エコな歴史的石垣を再生しました。地域の文化的景観として南阿蘇村に多数残る石垣は、地域循環資源である石だけで築かれています。二酸化炭素を出さないエコな技術であり今後再評価されるべきものですが、技術の継承はなされていません。石積み文化の復興を目的に、傷んだ石垣（左上の写真）を丁寧に解体し先人の知恵と技を学びました。そして試行錯誤しつつ新たに石垣を積みました。学びを活かすことで、地域らしい表情と十分な強度を備えた石垣を再生できました。2024年度グッドデザイン賞受賞。

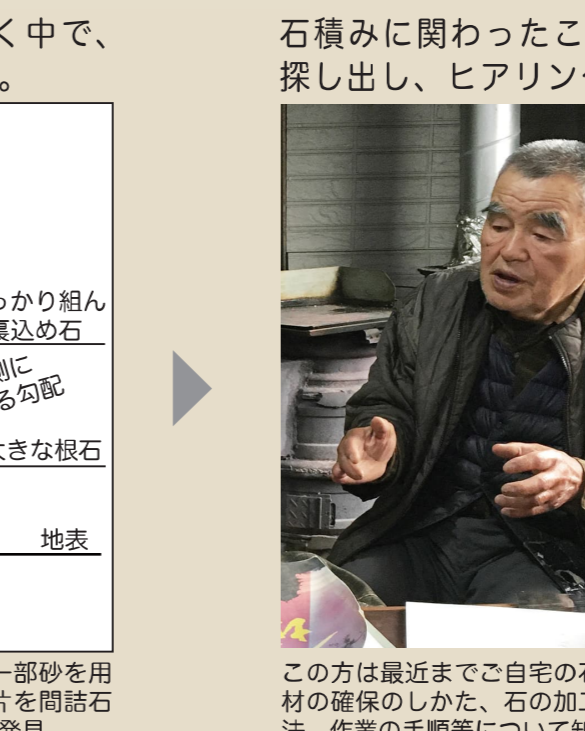
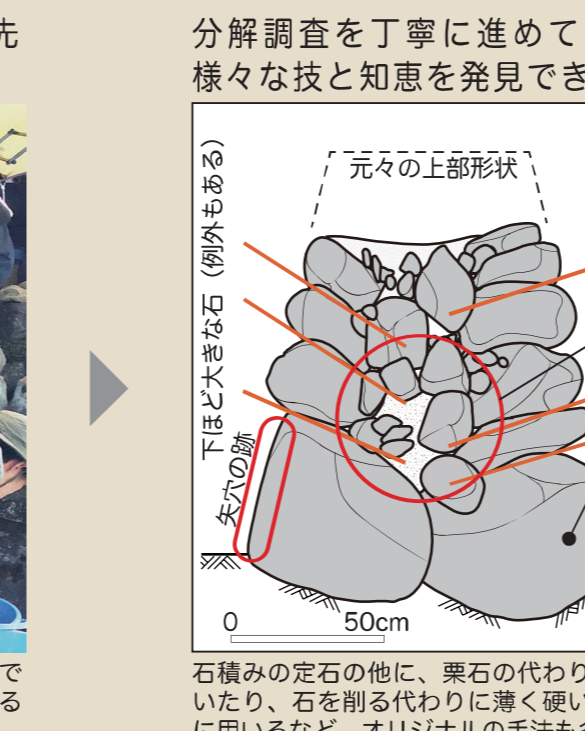
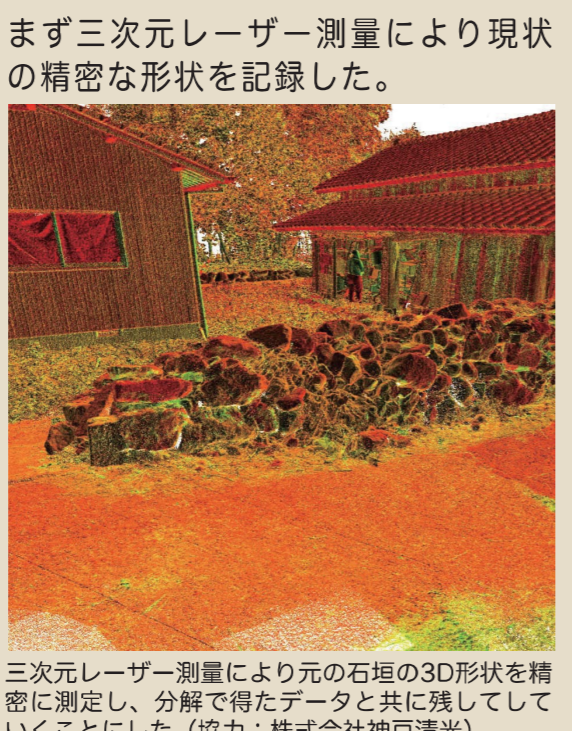
1. エコだけどつくりえない石積み

詳細な現地調査の結果、南阿蘇村には古い（歴史的）石垣が多数あることを確認できた。地域循環資源の石だけを使った古い石垣は文化遺産として大切なだけでなく、コンクリートなどを使用せず二酸化炭素を排出しないため、これからの時代に良くマッチしている。しかし、昔ながらの方法で丈夫な石垣をつくる技はほとんど継承されていないことも判明した。では、どうすれば素晴らしい石積み文化を復興していけるだろうか？これが最初の問題意識だった。



2. 分解することから学ぶ

南阿蘇村の歴史的石垣を保全していくには、何よりも「積み技」を蘇らせることが重要。そこで2022年、所有者の許可を得て、損傷していた歴史的石垣のほぼ全体を丁寧に分解し、丈夫な石垣を積むための先人の知恵と技を学ぶことにチャレンジしてきた。貴重な機会を与えてくださった所有者の方に感謝。さらに地域の古老の方々に石積みの経験についてヒアリングを実施した。



3. 歴史的石垣を積んでみた

分解からの学びを活かれば、我々にもきっと空積みの石垣を作れるはず。分解調査の翌年、石垣再生に挑んだ。地元建設会社等からも多数の方が参加。皆で意見を交わし合い試行錯誤しながら作業を進めた。納得のいかないところは何度も積み直した。もちろんコンクリートは使用していない。先人の知恵と技をしっかりと反映した。半年後に完成。まだ真新しいが、少し時が経てば、分解させてもらった石垣と同じ地域らしい表情を醸し出すようになって考えている。



4. 古くて新しい価値の共有と展開

わずかに一例ではあるが、南阿蘇村の歴史的石垣の復興につながる貴重な経験ができた。次からはもっと手早く積める自信もついた。現在は、地域の方々に石垣の持つ歴史的価値と今日的価値の両方を再認識していただく活動、石垣を積める人材を育てる活動、石の資源循環の仕組みの構築、そして歴史的石垣を活かしたエコツーリズムの立ち上げなどに、南阿蘇村役場を中心に取り組むつつある。

